

鳴瀬川水系鳴瀬川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1 説明文

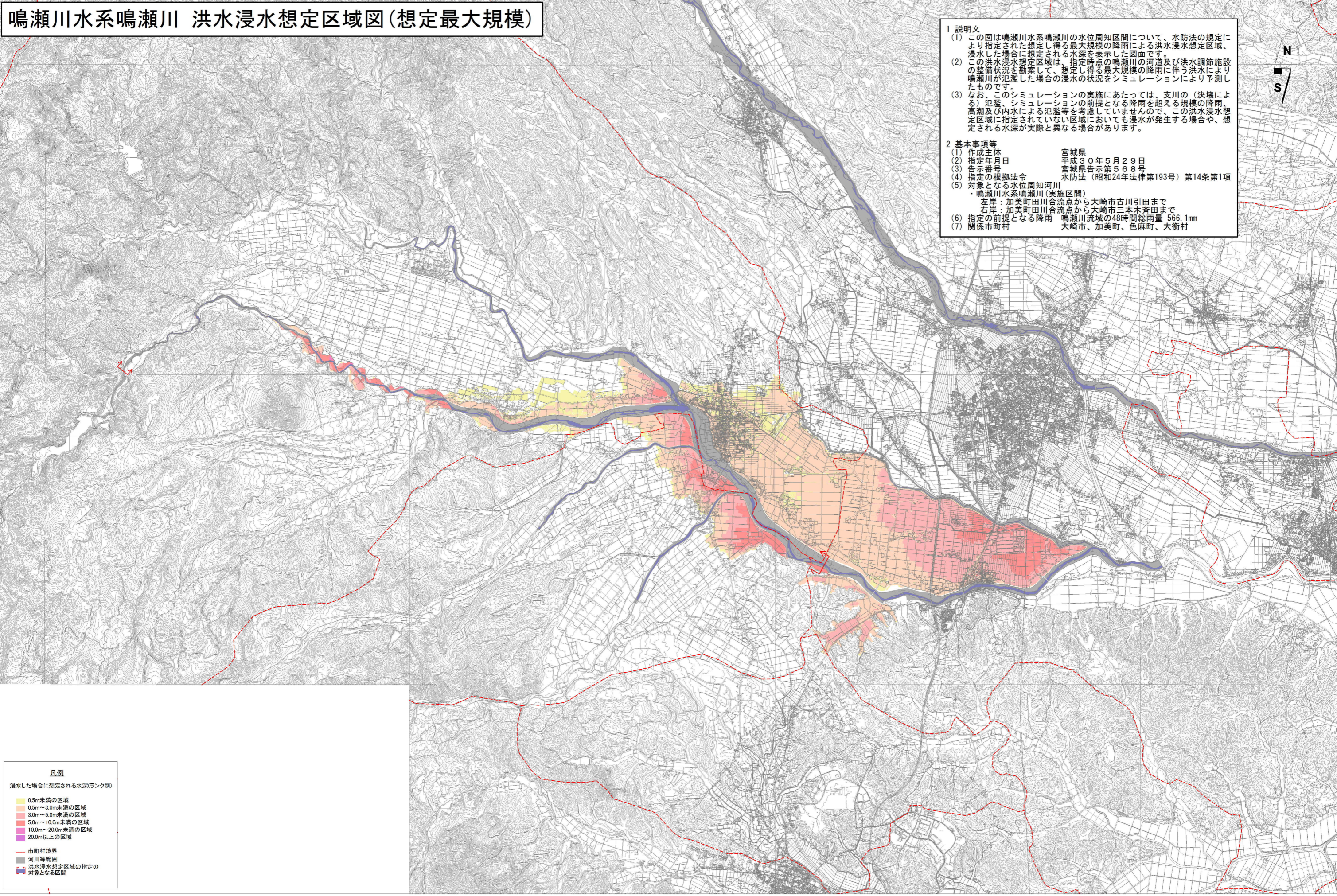
(1) この図は鳴瀬川水系鳴瀬川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の鳴瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により鳴瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 宮城県
 (2) 指定年月日 平成30年5月29日
 (3) 告示番号 宮城県告示第568号
 (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 (5) 対象となる水位周知河川
 ・鳴瀬川水系鳴瀬川(実施区間)
 左岸: 加美町田川合流点から大崎市古川引田まで
 右岸: 加美町田川合流点から大崎市三本木齊田まで
 (6) 指定の前提となる降雨 鳴瀬川流域の48時間総雨量 566.1mm
 (7) 関係市町村 大崎市、加美町、色麻町、大衡村



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

市町村境界
 河川等範囲
 洪水浸水想定区域の指定の対象となる区間

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)、電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平30情使、第81号)」